

高知県職員NPO短期派遣研修意見交換会

日 時：平成 31 年 2 月 7 日（木） 13：30～15：00

場 所：職員能力開発センター 2階 小会議室

参加者：研修職員 4 名、事務局 2 名（2 名とも研修職員）

概 要：

1 開会

事務局からの挨拶

2 研修概要説明

事務局から研修の目的、仕組み、研修実施の経過等について説明

2 意見交換

① NPOの活動について

○ 活動資金について

- ・研修で派遣された団体は補助金に頼らず運営しているということだったが、資金繰りが大変だと感じた。
- ・市町村の指定管理を受けているところや、企業と連携することで協賛金を得られているところは資金の心配が無く、安定して活動できている。

○ 人材について

- ・人材が不足しており、世代交代や後継者不足も問題になっている。もっと若い人がNPOに入りやすくなるよう、NPOも行政も考えていかなければならない。
- ・活動を支援してくれるボランティアなどを集められる団体もあるが、どこの団体も事務局を担当する方の数が少なく、その人達に負担が集中している。
- ・NPO活動で得られる給料は少なく、仕事にしていくことは難しいと思う。
- ・NPOの活動だけで食べていけることが分かれば、活動を始める人や、活動に参加する人も増えると思う。食べていけないのであれば、食べていくことができるようNPOや行政が対応を考えていくことが必要だ。また、どういう収入を得てNPO活動をしなが生活できているのか、モデルケースを示すことも有効だと思う。
- ・これまでは退職したアクティブシニアがNPO活動で活躍していたが、定年後も仕事をする人が増え、新たにNPO活動をする人が少なくなっている。
- ・NPOが活動していく上では人間関係を構築していくことが重要になるため、入ったばかりの方がすぐに重要なポジションには就ける訳では無く、後継者育成は大変だと思う。

② 県職員NPO短期派遣研修のあり方について

○ 派遣期間

- ・派遣期間は3日間だったが、イベント準備・運営に参加し、団体の通常事務も経験できたので、適切な期間だったと思う。1日間だと短いのではないかな。

- ・所属部署にもよるが2～3日間ぐらいが良いと思う。
- ・NPOの運営状況等を詳しく知るには3日間でも短いと思う。そのため、この研修を受講することでNPOの特性を知り、行政との協働につなげていく、というのは難しいのではないかと。ただ、県職員がNPOについて知る良い機会にはなると思う。

○ 研修の必要性

- ・研修を通じてNPOについて知ることができるので、NPOと関係する業務を担当する職員は参加した方が良いと思う。
- ・どこの団体で研修を受講しても、この先の自分の業務に役立つ経験になると思う。

○ その他

- ・研修に参加する前に、NPOとはどういうものか、概要の説明を受けた上で参加できれば良かった。説明が難しいようであれば、概要が分かる資料の提供でも構わない。

③ 行政職員がNPOに対する理解を深め、協働を進めることについて

- ・自分たちの業務の中でNPOとやりとりする際、うまく書類が作成できていない団体もある。しかし、NPOで活動している方々は普段から書類作成をしているわけではなく、作成に不慣れな面もあるので、自分たちもそういったNPO側の事情も念頭において対応していくことが必要だ。
- ・研修で派遣された団体は、県の取組の先進事例として取り上げられるような団体であり、地域に根付いた活動ができていた。その団体ように県の取組に参加してくれる団体には、より支援していくべきだと思う。
- ・研修で派遣された団体では、会員のやりたいことをやる、という方針で活動しており、そのために必要な人を呼び、必要なお金は参加料を取ったり、会費を使い、自分たちで賄っていた。行政とつながらなくても、団体の中で活動が完結できていると感じた。

④ その他

- ・もっとNPOが身近なところで活動している社会になって欲しい。
- ・行政はNPOという違った目線からの意見も大事にしていければ良いと思う。

4 閉会

事務局からの挨拶